

## 2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		井堰台帳管理システム整備事業					
事業の概要		<p>主要河川に設置された井堰については、農業者の減少や高齢化により、地元の組合での管理は難しくなっており、井堰の位置や構造等を把握し、一元管理できるシステムの構築を図り、効率的な台帳管理を行うとともに、緊急時の対応が円滑に行えることで、免災につながるものである。</p> <p>&lt;内容&gt; 井堰台帳管理システム作成業務委託</p>					
		事業期間	平成20年度				
		総事業費	997	本年度事業費	997	交付金交付額	442
事業評価	事業の必要性	井堰については、農業者の減少や高齢化により地元の組合での管理は難しくなっているため、井堰の位置や構造等を把握し、一元管理できるシステムの構築を図る。					
	事業の有効性	井堰については、大雨時に堰を倒す等の適切な対応を行わなければ災害を誘発する恐れがあるため、本システムの構築により、緊急時の対応が円滑に行える。					
	事業の効率性	年度ごとに井堰管理者を調査し、農事組合等の組織と共通の台帳を保有するなど、効率的な台帳管理が行え、適切な井堰管理を行うことができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果					
		町が台帳整備したデータを、エクセル等のソフトを利用し、各農業者組織に配布することで、最新のデータを共有することができる。また、組織の意識向上が図られ、適切な井堰管理を行うことができる。					
3 リーディング・モデル成果							
4 広域的波及成果							
GISによる管理を行うため、効率的な台帳管理が行え、航空写真と重ね合わせることで、場所の把握が容易に行える等の効果がある。							
5 行財政改革に資する成果							
従来の紙台帳での管理を行わないため、コスト縮減につながる。また、大雨時には事前に井堰管理者に連絡することで適切な対応が図られ、免災につながる。							
6 その他の成果							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。